

※別紙

## 「工学院大学が取り組むエリア防災、10年の歩み」

- 2007年度 新宿駅周辺地域の事業者・医療従事者・防災関係機関・新宿区などが連携した大規模な地震防災訓練を開始(会場:工学院大学)
- 2009年度 ・新宿駅周辺防災対策協議会は「新宿ルール」を制定。工学院大学は専門家として立案から携わる。  
・地域事業者の防災リテラシー向上のために、「新都心の地域減災セミナー」、地域連携訓練を開始(会場:工学院大学)  
・東北福祉大学、神戸学院大学との共同事業「防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開」開始。
- 2011年3月 東日本大震災発生。帰宅困難者を新宿キャンパスで受け入れ、備蓄品(食料、飲料、毛布など)を提供。<写真1>
- 2011年4月 写真修復ボランティア「あなたの思い出まもり隊」の活動を、仙台・神戸・東京(本学)で開始。学生を中心に、教職員や社会人183名が参加。<写真2>
- 2012年12月 新宿区と「防災・減災対策の相互連携に関する基本協定」「帰宅困難者一時滞在施設の提供に関する協定」を締結。
- 2013年2月 八王子市中野町甲和会と「防災・減災対策の相互連携に関する基本協定」締結。
- 2014年度 避難所開設キット、新宿区での設置開始(2018年度で全避難所に設置終了)
- 2016年6月 新宿駅周辺防災対策協議会は「新宿ルール実践のための行動指針」を制定。工学院大学は立案から携わる。
- 2017年2月 新宿駅周辺防災対策協議会の有志からなる「チーム・新宿」を立ち上げ、ドローンによる誘導実証実験を実施。<写真3>
- 2017年9月 ドローンによる外壁調査を本学新宿キャンパスで実施(協力:損害保険ジャパン日本興亜株式会社ほか)



<写真1:東日本大震災での帰宅困難者受け入れの様子>



<写真2:「あなたの思い出まもり隊」の活動の様子>



<写真3:>ドローンによる誘導実証実験の様子

「新宿駅周辺防災対策協議会」とは

大規模地震発生時の混乱防止や被害軽減を目的に、新宿駅周辺地域にある事業所等からなる団体です。交通部会、情報発信専門部会などの部会活動や、大規模な合同地震防災訓練を企画・開催しています。

事務局 :新宿区危機管理担当部危機管理課

協議会 HP : [https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/kikikanri01\\_000109.html](https://www.city.shinjuku.lg.jp/anzen/kikikanri01_000109.html)